

地域再生計画（地方創生道整備推進交付金）中間評価調書

都道府県名	愛媛県	事業実施主体	愛媛県、西予市	地域再生計画名	せいの創生 地域資源と産業を守り、地域間をつなげるまちづくり計画
計画期間	平成27年度～平成31年度	評価責任者	西予市建設部長 岩瀬布二夫		

	指標	基準値		中間目標値		最終目標値		中間評価	中間目標値の実現状況に関する評価		
		基準年度		年度	中間実績	基準年度					
①地域再生計画に記載した数値目標の実現状況	指標 1	集落間及び周辺部から中心部へのアクセス改善	52分	H26	50分	H29	51分	43分	H31	△	保安林解除等外部機関との協議に不測の日数を要する案件が複数あり、計画の数値には至らなかったが、概ね目標を達成できた」と評価する。
	指標 2	集落間及び周辺部から中心部への危険箇所改善	8箇所	H26	4箇所	H29	5箇所	0箇所	H31	△	急峻な地形により切土量が予想以上の増加、及び人件費・資材単価の高騰、希少動物との関係から当初の予定延長に達することが出来なかったが、概ね目標を達成できた」と評価する。
	指標 3	孤立集落解消	6集落	H26	6集落	H29	6集落	0集落	H31	○	進捗は遅れ気味であるが、概ね計画通りである。
	指標 4	木材の有効活用	22,355m <sup>3</sup>	H26	22,355m <sup>3</sup>	H29	56,009m <sup>3</sup>	30,000m <sup>3</sup>	H31	○	林道整備による効果として未開伐地域へのアクセス改善が図られた結果、木材生産額の増となった。
	指標 5	間伐材エネルギー利用促進	890 t/年	H26	890 t/年	H29	396 t/年	1,100 t/年	H31	△	ペレットストーブやボイラー施設等の普及が進んでいないため、生産量が目標に達成できなかった。
②地域再生計画に記載した数値目標以外の波及効果の実現状況	指標 1										
	指標 2										

③事業の進捗状況	事業名	整備量（その他の事業では取組内容）			事業の進捗状況に関する評価	
		計画	中間年度（H29）	最終実績見込み		
特別措置を適用して行う事業	市道石城地区101号線	87m	14m	87m	外部関係機関との協議に不測の日数を要し、進捗が遅れている。また、7月豪雨災害の影響もあり、計画自体の見直しを検討したい。	
	市道石城地区15号線	250m	100m	250m	一部地権者との交渉に不測の日数を要したため、事業の進捗が遅れている。	
	市道旧町地区277号線	600m	0m	0m	保安林解除に不測の日数を要している。事業計画の見直しを要する。	
	市道2級路線8号線	240m	115m	240m	一部地権者との交渉に不測の日数を要したため、事業の進捗が遅れている。	
	市道馬地惣財久線	300m	276m	300m	ほぼ計画通りの進捗であった。	
	市道荷刺大西鎌田西線	300m	340m	340m	ほぼ計画通りの進捗であった。	
	市道惣川橋原線	400m	73m	273m	地権者等との交渉に不測の日数を要し、進捗が遅れている。	
	市道蔭之地杉の瀬線	325m	55m	255m	地権者等との交渉に不測の日数を要し、進捗が遅れている。	
	市道安尾線	200m	0m	0m	7月豪雨災害の影響もあり、計画自体の見直しを要する。	
	市道平岩柳沢線	200m	296m	296m	ほぼ計画通りの進捗であった。	
	市道平岩線	200m	0m	0m	7月豪雨災害の影響もあり、計画自体の見直しを要する。	
	林道田之筋溪筋線	2,380m	930m	2,036m	林道整備により今まで森林施業が困難であった地域について充実した森林へのアクセス改善が図られた結果、間伐実施面積の増となった。全体計画延長13,000mとなっており、多くの未開伐地域が残っているため、引き続き事業実施を行いたい。	
	林道小振鍵山線	612m	357m	444m	林道整備により今まで森林施業が困難であった地域について充実した森林へのアクセス改善が図られた結果、間伐実施面積の増となった。1級河川を横断する路線であるため橋梁架設が必要となるが、コスト縮減を図りながら引き続き事業実施を行いたい。	
	林道西栗木線	722m	931m	931m	林道整備により今まで森林施業が困難であった地域について充実した森林へのアクセス改善が図られた結果、間伐実施面積の増となった。コスト縮減が図られたことにより、開設延長が増となった。	
林道河西四郎谷線	2,500m	296m	666m	林道整備により今まで森林施業が困難であった地域について充実した森林へのアクセス改善が図られた結果、間伐実施面積の増となった。全体計画延長2,980mとなっており、多くの未開伐地域が残っているため、引き続き事業実施を行いたい。		
林道阿下线	1,500m	0m	0m	平成26年度中の地域再生計画の認定申請に向けて、土地所有者との調整を行い、同意が得られたため申請を行い認定されていたが、一部の土地所有者から同意が得られなくなり、再三にわたり同意に向けての調整を行ったが、困難であると判断し開設を断念した。		
林道オオノジ交線	1,505m	349m	714m	林道整備により今まで森林施業が困難であった地域について充実した森林へのアクセス改善が図られた結果、間伐実施面積の増となった。全体計画延長2,005mとなっており、多くの未開伐地域が残っているため、引き続き事業実施を行いたい。		
その他の事業	西予市バイオマスペレット生産利活用促進事業				西予市内で、間伐等により発生する切り捨て残材等と有効活用して、木質ペレットを製造復用することでCO2削減に貢献する。	需要となるペレットストーブや大型施設で使用可能となるボイラー等の普及が遅れているが、今後の需要拡大に向けて取り組みを強化したい。
計画外で独自に実施した事業						

④評価方法	計画期間の中間年度及び計画年度終了後担当部局が必要な目標達成調査等を行い、速やかに状況を把握する
⑤中間評価の公表方法	西予市HPにより公表する
⑥計画全体の総合評価	市道整備については、関係機関との調整に不測の日数を要しているのが多く見受けられ、計画の進捗が上がっていない。調整は早急に実施し、計画の進捗に影響しないような取り組みを行っていくこと。木材の有効活用については地域再生計画にある林道整備による生産基盤の充実や作業の効率化が図られ、期待通りの結果が出ている。今後はペレットストーブやボイラー施設等の普及をすすり、生産量を目標値に上げていく取り組みを期待する。
⑦今後の方針等	平成30年7月豪雨災害の影響が本計画にも影響が出始めている。今後の地域再生計画の修正・変更を含め再検討し、取り組んでいくこととする。